

親子の暮らし方、生き方のヒント 「情報」の収集・選択・体験・相談が一堂に

NPO法人パオッコ

「離れて暮らす親のケアを考える会」

太田差恵子

年老いてきた親を支えようと考えたとき、便利なモノや使い勝手のいい商品、サービスの「情報」はとても重要です。上手に活用することで生活の質はグンと向上します。ただ、相性があるため、誰かにとっては快適でも、自分や自分の親は快適とは感じないこともあります。

賢く活用するためには、親子で「どういう暮らし」をめざすかを考え、そのうえで自分たちのライフスタイルに合った商品やサービスを選ぶという姿勢が大切です。

今回、「オヤノコト・エキスポ

2013」というイベントに出かけてみました。こちらのネット（オヤノコトHub）にはコラムを連載していますが、催しに参加したのは初回以来6年振りで

●「オヤノコト・エキスポ」とは

このイベントは、(株)オヤノコトネットが開催したもので、「高齢期を迎えた親に変わって、子世代（40代〜50代）が親の安全や快適な生活に必要な情報を集め、親子で共有することで、歳を取ることを不安に感じない社

会を目指そう」という思いがテーマとなつていきます。6回目の今日は7月27日、28日に東京国際フォーラムで開かれました（参加費無料）。

さまざまな商品・サービスの展示コーナーでは、実際に商品を見て、説明を聞き、相談や体験ができます。車いすなど介護に必要な商品だけでなく、親世代が使いやすい自転車や家電のコーナーもあります。快適に暮らせる住まいやセキュリティシステム、もしもに備えた保険などの相談コーナーも。介護食の試食コーナーもありました。

介護のまえに

まず
どう生きるか



絵・いしだみな / (株)カトウプロ

ブース自体は通常の展示会でも見かける風景ですが、そこに集う来場者の表情には違いがあります。ごく身近な「家族」の暮らしを考えているせいか、熱心に個別に相談していたり、ときには笑い声があったり。親子や夫婦での参加が多いのも特徴です。

●楽しめる教室やセミナーも

ただ単に情報を提供するのではなく、親子のコミュニケーション



「親子de学び舎」撮影／「オヤノコト」編集部

ン、親子のあり方を参加者が考
えられるようプログラムされて
います。

そのひとつに、高齢の親とそ
の子が一緒に参加して学べる「親
子de学び舎」があります。プロ

カメラマンによる親子写真教室
や、家族でできるツボとお灸の
教室、スマホ教室など。新たな
挑戦に臨む親子の表情は明るく、
生き生きしています。

専門家によるセミナーも開か
れます。そのひ

とつ登山家田部
井淳子氏の「人
生8合目からが
おもしろい」に
参加しました。
エベレストの話
のみならず、被
災地福島での話
や趣味のシヤン
ソンの話など盛
りだくさんな内
容でした。田部
井氏は73歳。
「70歳を過ぎて
も、こんなにワ
クワク爽快に生
きられるんだ」
と勇気もらいま
した。
また、新たな

試みとして「親からもらった、
とっておきの言葉コンテスト」
が実施されました（8月18日ま
で応募受付）。親から言われ「救
われた」とか、「今も心の支えに
なっている」という応募作品が
掲示されています。

さまざまな角度から「自身の
親」のことを考えるように仕掛
けられたイベントでした。

2日間の開催で2万人近くが
参加したそうです。「来年に向け
て、さらに世代を超えた思いや
りの連鎖を生み出せるような企
画、企業とユーザーを結びつけ
て、商品開発のヒントを得られ
るような企画などを増やしたい
と考えています」と担当者は話
します。

* *

親が年齢を重ねると、「誰が、
どうやって介護するのか」とい
うところに発想はいきがちです。
けれども、介護し、されるため
に「親子」をやっているわけで
はありません。どう生きるかを
考えることの方がより大切な

テーマだと思います。そのため
には介護を必要とするように
なってからではなく、元気な今
から向き合うことが欠かせませ
ん。

親子で顔を突き合わせて考え
ると深刻になりがちですが、こ
ういうイベントをきっかけにす
ると、互いの緊張感も和らぎ、
素直な気持ちで向き合うことも
できそうです。

便利な商品、サービスが一堂
に集まり、吟味のできるような
機会は多くありませんが、個別
には店舗で売られていたり、
シヨールームがあったりしま
す。親子で出かけて、見たり聞
いたり、触れたりして、一緒に
考えれば、前向きな一歩を踏み
出せるのではないのでしょうか。

（注）「オヤノコト」は、株式会社
オヤノコトネットの登録商標で
す。同社のホームページは[http://
www.oyanokoto.net/](http://www.oyanokoto.net/)